

エコアクション21

環境経営レポート

2022 年度運用版（運用期間：2022 年 3 月～2023 年 2 月）



発行日：2023 年 6 月 20 日

 **ALL HANDS** 株式会社オールハンス

目次

1. 組織の概要	2
2. 認証・登録の対象範囲	2
3. 環境経営方針	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画	6
6. 環境経営計画に基づき実施した取組	7
7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画	11
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	14
9. 緊急事態の対応訓練	15
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	16

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社オールハンズ
- 代表者氏名 代表取締役 西田 亨
- 2) 所在地 本社 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津1-17-5
- 3) 環境管理責任者
- 取締役 西田 純
- 連絡先 TEL 092-409-7342 FAX 092-623-1087
- E メールアドレス j-nishida@a-hamds.com
- 4) 事業の内容 DM発送代行 流通加工 物流サービス
- URL <https://www.a-hands.com/>
- 5) 事業の規模
- 総売上高 1億4,500万円（2023年2月期）
- 従業員数 4人
- 6) 事業年度 2022年3月～2023年2月

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所 本社
- 2) 対象活動 DM発送代行、商品の箱詰・包装、販促物等の発送
- 3) 対象外組織・活動 なし

全組織・全活動及びその全従業員を対象とする

4) 事業内容の紹介



DM発送代行

DMに係る「封入作業」や「宛名印字」もオールハンズにお任せください。
DMの制作もお手伝い致します。



流通加工

封入、封緘、商品のセットアップ、箱詰め、包装等、手作業で行う業務は何でもご相談ください。
また、両面テープ加工も行っております。



物流サービス

キャンペーン商品等の発送、販促品の発送もお任せください。
通販商品も対応致します。

ダイレクトメールは「営業部隊」

セールスレターは新しいクライアントを創出します。

- ・ちょっとした挨拶
- ・セールスレター
- ・パンフレット
- ・正式な書面での提案

事前に1通送る事で、電話をかけた時、訪問した際の効果が上がります！



機械では出来ない 細かい作業を承ります。

- ・機械では封入できないサンプル等の封入作業
- ・形状の変わった箱への商品セット作業
- ・定番商品とは違う、小ロットの限定商品のセットアップ作業
- ・熨斗掛けや包装
- ・封筒やPOPへの両面テープ貼付け作業

機械では出来ない特殊な作業でお客様の商品の「差別化」に貢献致します。



キャンペーン商品等の発送、 販促品の発送もお任せください！ 通販商品も対応致します。

キャンペーン商品等の発送、販促品の発送もお任せください。
通販商品も対応致します。



佐川急便、ヤマト運輸、日本郵便、西濃運輸等、様々な配送業者様を利用し、
商品の大きさ、重さ、内容に合わせて最適な発送方法をご提案致します。

3. 環境経営方針

環境経営理念

株式会社オールハNZはDM発送代行、流通加工、物流サービスを通じて地球環境の保全と地域環境の向上に貢献します。

自主的・継続的に取り組むことで環境負荷削減の重要性を広めていきます。

行動指針（基本方針）

1. 環境理念に基づき次の方針を定め全員参加で取り組みます。
 - ・環境経営方針を全従業員に周知
 - ・環境経営システムの維持、継続的改善
 - ・節電、エコドライブ等を実施、二酸化炭素排出量の削減
 - ・一般廃棄物の削減、リサイクルの推進
 - ・環境負荷削減商品の提案
 - ・事務用品のグリーン購入
 - ・地域の美化活動
2. 環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
3. 地域の環境保全活動には積極的に参加します。

制定日 2021年6月1日

改訂日 2022年8月1日

株式会社オールハNZ

代表取締役 西田 亨

4. 環境経営目標

環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、2021年度～2023年度までの中間目標として、以下の「ガソリン使用量の削減」「一般廃棄物排出量の削減」「環境負荷削減商品の提案」の3つを目標に設定しました。

※「二酸化炭素排出量の削減」の目標は2020年度（ガソリン使用量は2020年6月～8月の3ヶ月を年換算）を基準としました。

※「廃棄物使用料の削減」の目標値は2021年度(2021年6月～8月実績値465.2kgの3ヶ月を年換算)を基準としました。各基準年をもとに毎年1%ずつ削減を目指します。

※「環境負荷削減の提案」の目標値は、3ヶ月で1件成約を目標に設定しました。

環境目標	単位	基準年 2020年度		目標				
		2020年6月～ 8月（3ヶ月）	基準年 年間換算	2021年度（1%削減）			2022年度（2%削減）	2023年度（3%削減）
				2021年6月～8月 （3ヶ月）	2021年9月～ 2022年2月 （6ヶ月）	年間換算		
1. 二酸化炭素排出量の削減 ガソリン使用量の削減	ℓ リットル	290.20	1160.80	287.30	574.60	1149.19	1137.58	1125.98
環境目標	単位	2020年度		2021年度 基準年			2022年度（1%削減）	2023年度（2%削減）
		2020年6月～ 8月（3ヶ月）	年間換算	試行運用期間実績		試行運用期間 目標		
				2021年6月～8月 （3ヶ月）	2021年9月～ 2022年2月 （6ヶ月）	基準年 年間換算	2022年3月～ 2023年2月	2023年3月～ 2024年2月
2. 廃棄物排出量の削減 一般廃棄物排出量の削減	kg	—	—	【465.2】	930.4	1860.8	1842.19	1823.58
※2021年度試行運用期間の実績把握により、基準値設定。その基準値をもとに2022年度以降の目標設定を行った								
3. 水使用量の削減	m ³	共同使用のため、把握不可						
環境目標	単位	2020年度		2021年度 基準年			2022年度	2023年度
		2020年6月～ 8月（3ヶ月）	年間換算	試行運用期間実績		試行運用期間 目標		
				2021年6月～8月 （3ヶ月）	2021年9月～ 2022年2月 （6ヶ月）	基準年 年間換算	2022年3月～ 2023年2月	2023年3月～ 2024年2月
4. 社会貢献活動の推進 環境負荷削減商品の提案	件	—	—	1件	2件	3件	4件	4件

※電力・水は他事業者と共同使用で把握不可のため、数値目標から除外した。ただし、環境経営計画により取り組みは行っている。

※化学物質は使用実績がないため、目標から除外した。

※ガソリンの二酸化炭素排出係数は、2.32kg-CO₂/Lで算出。

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①電気使用量の削減	終業時必要の無い機器の電源 o f f	通年
	トイレ使用時のみ点灯	通年
	ブラインドの利用により室温の調整	7月～9月
	空調服（夏場）、電熱ジャケット（冬場）の使用	7月～9月 12月～2月
	エアコン設定 夏場25℃	7月～9月
	エアコン設定 冬場20℃	12月～2月
	空調機の定期的な清掃	通年
	事務所LED電球の使用	通年
②ガソリン使用量の削減	エコドライブ運転を心掛ける	通年
	タイヤの空気圧、メンテナンス	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	電子契約導入	通年
	一般廃棄物の分別・計量	通年
	適切なサイズの段ボールを利用（多重包装防止）	通年
	分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底	通年
②資源リサイクル率の向上	資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する	通年
	生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用	通年
	FAXは可能な限りメールへ変更（ペーパーレス化）	通年

3. 水使用量の削減

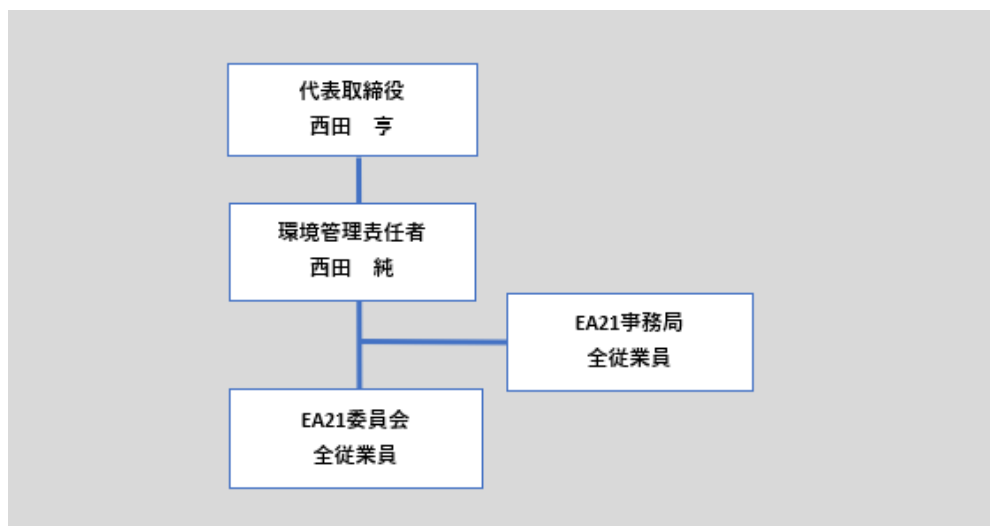
取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①水使用量の削減	節水の呼びかけ（プレート作成）	通年
	手元バルブ付きシャワーによる水やり	通年
	洗車、花壇の水やりはストッパー付きホース使用	通年

4. 社会貢献活動の推進

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①社会貢献活動の推進	SDG s の目標を意識し取り組む	通年
	環境負荷削減商品の提案	通年
	一人一花運動による地域美化活動	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組

1) エコアクション21の実施体制



役割分担

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
EA21委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価

2) 環境経営計画に基づき実施した取組

電気使用量削減の取組

終業時必要の無い機器の電源 o f f
トイレ使用時のみ点灯



ガソリン使用量削減取組

エコドライブ運転を心掛ける
タイヤの空気圧、メンテナンス

一般廃棄物の削減取組

一般廃棄物の分別・計量
適切なサイズの段ボールを利用（多重包装防止）
分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底



資源リサイクル率の向上

資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する

生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用



水使用量の削減

節水の呼びかけ（プレート作成）



グリーン購入の推進

事務用品、消耗品のグリーン購入の推進、FSC認証紙の購入



社会貢献活動の推進

SDG s の目標を意識し取り組む

環境負荷削減商品の提案

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

オールハnzのSDGs



環境への取り組み

- 一般廃棄物の分別、減量、資源ごみのリサイクルによるCO2削減に努めます。
- お客様に環境負荷の少ない資材をご提案します。
- グリーン購入の取り組みによる環境負荷低減に努めます。
- 「一人一花運動」に取り組むことにより、緑あふれる豊かな街づくりに貢献します。

社会への取り組み

- 個人のライフスタイルに合わせた無理のない働きかたを提供します。
- 社会と、人と、つながる場を提供します。
- 就労継続支援事業所に業務を委託することにより障がい者支援のお手伝いをしています。



7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

・2022年度運用期間の環境経営目標に設定した「ガソリン使用量の削減」では「エコドライブ運転の心掛け」や「車両運転時の急発進・急加速・空吹かし禁止」を意識したものの、営業活動で遠方の案件が多かったこともあり、目標を達成することができなかった。引き続き、エコドライブ運転の心掛け、取組を強化していきます。

・「一般廃棄物排出量の削減」では、DMの封入物の分別作業などの取り組みもあり、目標に設定した一般廃棄物排出量1842.19kgに対して1140.90kgと目標を大きく上回りました。

・「環境負荷削減商品の提案」の目標に設定した「環境負荷削減商品の提案の成約件数 3件」では、顧客に対して継続的に提案を行ったが、コスト面が優先され、実績を上げることはできなかった。

環境目標	単位	目標	実績	目標達成率 (%)	目標達成状況
		2022年度			
		2022年3月～ 2023年2月			
1. 二酸化炭素排出量の削減 ガソリン使用量の削減	ℓ _{リットル}	1137.58	1327.54	85.69%	△
二酸化炭素排出量	kg	2639.19	3079.89		
2. 廃棄物排出量の削減 一般廃棄物排出量の削減	kg	1842.19	1140.90	161.47%	◎
3. 社会貢献活動の推進 環境負荷削減商品の提案	件	3件	0件	0.00%	×

※目標達成率の計算 目標÷実績×100（削減目標の場合）

※評価区分 ◎：目標達成率≧120% ○：100%≦達成率<120% △：80%≦達成率<100%

×：達成率<80% —：判定不可

※電力・水は他事業者と共同使用で把握不可のため、数値目標から除外した。ただし、環境経営計画により取り組みは行っている。

※ガソリンの二酸化炭素排出係数は、2.32kg-CO2/Lで算出。

・2022年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。今後もこの取組を継続・発展させ、環境経営目標の全項目達成を目指していきます。

※評価 ○概ね実施できた。△実施したが、まだ不十分だった。×実施できなかった。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①電気使用量の削減	○	終業時必要の無い機器の電源off	○	〈現状〉 ・取組については、全活動項目で概ね適切に実行できた。 〈今後〉 ・冬場のエアコン設定を20℃にするため、電熱ジャケットを配布・使用した。しかし、設定温度を20℃にできないケースもあり、今後対策・対応を検討する。	継続して実施
		トイレ使用時のみ点灯	○		
		ブラインドの利用により室温の調整	○		
		空調服（夏場）、電熱ジャケット（冬場）の使用	○		
		エアコン設定 夏場25℃	○		
		エアコン設定 冬場20℃	△		
		空調機の定期的な清掃	○		
②ガソリン使用量の削減	○	事務所LED電球の使用	○		
		エコドライブ運転を心掛ける	○		
		タイヤの空気圧、メンテナンス	○		

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①一般廃棄物排出量の削減	○	電子契約導入	○	〈現状〉 ・資源ごみへの取組も定着しており、従業員のリサイクル意識も向上している。 〈今後〉 ・今後も取組を継続する。	継続して実施
		一般廃棄物の分別・計量	○		
		適切なサイズの段ボールを利用（多重包装防止）	○		
		分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底	○		
②資源リサイクル率の向上	○	資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する	○	〈今後〉 ・今後も取組を継続する。	継続して実施
		生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用	○		
		FAXは可能な限りメールへ変更（ペーパーレス化）	△		

3. 水使用量の削減

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①水使用量の削減	○	節水の呼びかけ（プレート作成）	○	〈現状〉 ・取組は適切に実施でき目標も達成出来た。 〈今後〉 ・今後も夏場に向けて節水の取組を継続していく。	継続して実施
		手元バルブ付きシャワーによる水やり	○		
		洗車、花壇の水やりはストッパー付きホース使用	○		

4. 社会貢献活動の推進

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①社会貢献活動の推進	△	SDGs の目標を意識し取り組む	○	〈現状〉 ・環境負荷削減商品の提案は実績がなかった。	継続して実施
		環境負荷削減商品の提案	×	〈今後〉 ・今後も取組を継続する。	

次年度の環境経営目標

次年度の環境経営目標については、前頁の目標を継続致します。（5Pを参照）

次年度の環境経営計画

次年度の環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①電気使用量の削減	終業時必要の無い機器の電源 o f f	通年
	トイレ使用時のみ点灯	通年
	ブラインドの利用により室温の調整	7月～9月
	空調服（夏場）、電熱ジャケット（冬場）の使用	7月～9月 12月～2月
	エアコン設定 夏場25℃	7月～9月
	エアコン設定 冬場20℃	12月～2月
	空調機の定期的な清掃	通年
	事務所LED電球の使用	通年
②ガソリン使用量の削減	エコドライブ運転を心掛ける	通年
	タイヤの空気圧、メンテナンス	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	電子契約導入	通年
	一般廃棄物の分別・計量	通年
	適切なサイズの段ボールを利用（多重包装防止）	通年
	分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底	通年
②資源リサイクル率の向上	資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する	通年
	生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用	通年
	FAXは可能な限りメールへ変更（ペーパーレス化）	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①水使用量の削減	節水の呼びかけ（プレート作成）	通年
	手元バルブ付きシャワーによる水やり	通年
	洗車、花壇の水やりはストッパー付きホース使用	通年

4. 社会貢献活動の推進

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①社会貢献活動の推進	SDG s の目標を意識し取り組む	通年
	環境負荷削減商品の提案	通年

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、サービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2022年度運用期間中の事業活動に対して、2022年9月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、木製パレット等の適正な処理、適正な処理業者との委託契約
福岡市廃棄物の減量及び適正処理当に関する条例	産業廃棄物の適正な処理、適正な処理業者との委託契約
家電リサイクル法	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き渡し義務

9. 緊急事態の対応訓練

2022年9月8日 場所：本社 参加人数：6名

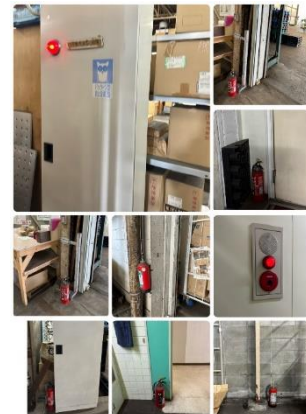
本社にて火災が発生したことを想定し、9月営業会議終了後に火災訓練を実施した。オフィス・倉庫内の消火設備、火災報知器、消火器設置場所の確認をするとともに、テキストで「通報」「消火」「避難」の訓練を実施した。

☆テキストで教育



通報・消火・避難訓練マニュアル（一般財団法人 福岡県消防設備安全協会資料）をもとに、本社での火災を想定して、従業員全員で対応手順を確認した。

☆オフィス・倉庫内の消火設備、火災報知器、消火器設置場所の確認



10 . 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 今回の2022年度運用期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

1)取組状況の全体評価

環境経営目標については、「ガソリン使用量の削減」では、エコドライブ運転の心掛けもあったが、営業活動が活発で遠方の案件も多かったため、目標に対して届かなかった。

「一般廃棄物排出量の削減」では、従業員一丸となり、DMの封入物の分別作業などの取り組んだことで目標を大きく上回った。

「環境負荷削減の提案」では、前年度に引き続きコスト面でのハードルの高さもあり、実績をだすことができなかった。

環境経営計画については、「エアコン設定 冬場20℃」ができない日もあったため、現場スタッフへ「電熱ジャケット」の配布し、使用した。それでも「エアコン設定 冬場20℃」できない日もあったが、一定の改善効果はあったと思われる。

上記以外では、エコアクション活動（DMの封入物等を資源ごみと一般ごみを分別するなど）従業員の協力を引き続き得られており、環境への意識も高い状態で定着している。

2)見直しの結果

環境経営目標の「ガソリン使用量の削減」については、前年度に引き続き、「車両運転時の急発進・急加速・空吹かし禁止」等のエコドライブ運転を心掛けて、引き続き改善していきたい。「廃棄物使用量の削減」では、現状目標を大きく上回っており、より高い目標設定の変更を検討する。「環境負荷削減の提案」では、顧客のコスト意識もあり、実績が出せなかった。その他の目標・計画・実施体制は、現状のまま継続していきたい。